

## 研究資料

### 当代中国刊行美術関係期刊解題 (三)

鶴田 武良

#### 56、「実用美術」 APPLIED ARTS

上海人民美術出版社編集・出版。不定期刊。B5判。四十八ページ、うちカラー図版十六ページ。一・五〇元。

一九七九年四月創刊。本誌は実用美術をいろいろな面から検討し、研究しようとするもので、内容は主に実用美術の基礎的知識に関する文章を図版を豊富に使って掲載している。例えば第七期(一九八一年十二月刊)には姜今「広告芸術を論ず」、任美君「ショーウィンドは商品の舞台である」、王平「抽象純幾何形初探」、余秉楠「二十世紀世界書籍芸術潮流」、朱鐘炎「円柱体の装璜設計」、汪立信・鮑樹民「皖南明清磚彫淺談」、顧方松「宝相花芸術」、靳常「米国画家ポール・ジェンキンス」、徐昌酪「天趣質朴の美—伝統包装の芸術欣賞」、劉華明「裝飾色彩と写生色彩」などを収める。

#### 57、「装璜設計」

未見。

#### 58「挿図」

天津人民美術出版社編集・出版。不定期刊。B5判。四十四ページ(カラー図版を含む)。一・四〇元。

一九八二年十二月創刊。本誌は資料的性質を持つ叢刊で、多くの書籍からさまざまな画風の挿図を選び、それらを現代題材作品挿図、古典題材作品挿図、外国題材作品挿図、外国画家挿図作品に分類して編集し、一部に短文を付している。

#### 59、「美術叢刊」

上海人民美術出版社編集・出版。不定期刊。十八・五×十七・二センチ。百十二ページ、うちカラー十六ページ。一・四〇元。

一九七八年二月創刊。本誌は中国画、油画、版画、素描、年画など、すべての種類の絵画を対象とする総合的期刊で、最近の作品をカラー及び単色図版で紹介することを主な目的とし、評論、創作論、画史、画論、技法、裱装、画材、外国絵画などに関する短文及び画家紹介を載せている。

#### 60、「画廊」

「画廊」編輯部編集。嶺南美術出版社出版。不定期刊。二十五・〇×二十五・八センチ。四十八ページ。一・八〇元。

一九八〇年創刊。本誌はカラー及び単色図版による作品紹介を主な目的とするもので、中国画、油画、版画、水彩、速写、彫塑などに分けて、現代作家の作品を紹介し、また古画鑑賞のページを置き、さらに内外の画壇の動向を作品によって紹介している。一部に短評を付している。一般に作品の寸法、制作年を付記しないことが多い中国の美術誌の中で、本誌はその二点を記している。

#### 61、「畫刊」

「畫刊」編輯部編集。安徽人民出版社出版。季刊。二十五・二×二十二・七センチ。四十八ページ。一・四〇元。

本誌は一九七七年に「群衆画頁」として創刊されたが、間もなく停刊し、一九八三年に名称を「畫刊」と改めて復刊した。内容は安徽出身の歴代画家を紹介する「安徽名画家」、歴代名画を紹介する「中国古代名画欣賞」、海外の名画あるいは有名画家の作品を紹介する「世界名画」又は「国外絵画」、現代中国の大家を紹介する「現代画家作品紹介」、中堅画家を対象とする「作品選登」、海外で活躍する中国系画家を紹介する「海外華裔画家紹介」などから成り、いづれもカラー及び単色の図版を主として、一部に短文を付している。

62、「江蘇画刊」

「江蘇画刊」編輯部編集。江蘇美術出版社出版。隔月刊（一九八五年から月刊の予定）。B5判。四十八ページ。〇・四五元。

一九七五年に不定期刊として創刊され、数年後に隔月刊となった。一九八五年一月から月刊となる予定である。本誌は絵画を中心に、彫刻、工芸などを図版を主にして紹介するもので、内容は古今の画家の評伝、創作論のほか、絵画についての随想を載せる「談美札記」、古美術を対象とする「絵画と文物」、古画鑑賞の「名画欣賞」、江蘇省出身の画家を紹介する「江蘇歴代画家」、歴代画家の逸話を紹介する「古代画家故事」、絵画についての短文を載せる「芸林偶拾」、画論に註釈を付した「画論注釈」、画法を述べた「技法知識」、外国の名画家や画派を紹介する「外国美術流派」などから成る。

63、「広西美術」

広西美術編輯部編集。広西人民美術出版社出版。隔月刊。B5判。三十六ページ。〇・二五元。

本誌は中国美術家協会広西分会の主幹するもので、もと「広西工農兵美術」の題名で一九七二年十二月に不定期刊として創刊されたが、一九七九年一月に「広西美術」と改められ、隔月刊となった。内容は内外の文学や伝記、あるいは革命斗争を主題にした連環画を中心に、主に広西出身の画家の作品（中国画、油画、版画など）や外国美術を図版で紹介するほか、「広西美術家紹介」、「美術基礎知識」などの專欄を置く。社会主義リアリズムの傾向が強い期刊物である。

64、「造型芸術」

遼寧美術出版社編集・出版。不定期刊。二六・〇×十二・七センチ。九十ページ前後。一・四〇元。

一九八〇年一月創刊。一九八三年六月に第六期が刊行された。本誌は主に内外、古今のすぐれた絵画作品をカラー図版によって紹介するもので、それらの図版に関連した画家に関する論評、技法、創作論、外国画家及び画派の紹介、あるいはそれ

らに関する外国文献の中文訳などを登載し、また連環画や商品の包装、デザインについても取上げることがある。

65、「美術作品」

人民美術出版社編集・出版。不定期刊。B5判。二〇—三〇ページ前後。〇・六〇—一・八〇元。

創刊年未詳。一九八一年三月に第五が、一九八三年六月に第十三が刊行された。本誌は例えば第五「中央美术学院油画系師生作品選」、第六「版画」、第七「油画」、第九「解放軍画選」、第十一「山水画」というように毎期、特集を組んでいる。毎期、簡単なまえがきを附するほかはすべて図版だけである。なお、第十三には各作品の寸法を記してあるが、他の期にはない。

66、「美術之友」

「美術之友」編輯委員会編集。北京・上海・天津・陝西人民美術出版社、遼寧・嶺南・湖南美術出版社連合出版。隔月刊。五〇ページ前後。〇・二〇元。

本誌は北京の人民美術出版社をはじめ右の各出版社が連合主幹するもので、一九八二年四月に創刊、同年は不定期刊で総三期まで刊行され、翌一九八三年一月から隔月刊となった。内容は各出版社出版の主要な美術関係図書を批評紹介することを主要な目的とし、さらに「画家談画」「美術家專訪」「新人新作」「名作欣賞」「創作經驗」「編輯体会」「古代画家紹介」「美術基礎知識」などの欄を設けている。また二、三期毎に美術図書専門出版社九社及び他の出版社出版の美術関係図書出版目録である「美術読物書目」を附している。中国の美術図書出版の情況を知る上に欠くことのできない期刊である。

67、「美術教育通訊」

「美術教育通訊」編輯部編集。隔月刊。B5判。二十八ページ。〇・二〇元。

本誌は南京師範学院美術系の主編にかかるもので、一九八〇年に不公開で創刊され、一九八三年第一期（総第十七期）から公開発行となった。内容は幼稚園から師

範大学までの美術教育に関する理論、経験、教材紹介、外国における美術教育の紹介、中国の美術教育家紹介、美術教育史料、各地の美術教育の消息などから成る。中国における美術教育の情況、動向を知る上に欠くことのできない期刊である。

## 68、「中国文芸年鑑」ALMANAC OF CHINESE LITERATURE AND ART

中国文芸年鑑社編。文化芸術出版社出版。年刊。B5判。一九八一年版は一二二八ページ、十八元。一九八二年版は一〇六四ページ、十九・五〇元。一九八一年版（総第一巻）は一九八二年九月に、一九八二年版（総第二巻）は一九八四年九月に刊行された。

本書は中国の現在の文化芸術の状況を伝える重要な資料である。内容は大きく分けて「特載」「文芸紀事」「文芸百科」「中外文化交流」「概況」「附録」「図片挿頁」から成る。「特載」には党及び国家の指導者、文芸界責任者の文芸工作に関する重要な発言を、「文芸紀事」には一九八〇年（一九八一年版）の文芸界の重要な活動を収める。「文芸百科」を総類、文学、芸術、科学文芸の四部分に分け、それぞれをさらに細分して文学を総類、小説、詩歌、報告文学、散文・民間文学、児童文学、少数民族文学、外国文学、現代作家及其作品研究、紅樓夢研究の十項に、芸術を総類、戯劇、電影（映画）、音楽、舞踏、美術、撮影、書法、曲芸、雑技・木偶・皮影、電視劇、芸術教育、群衆文化、少数民族文化、文化科技の十五項に分け、それぞれについて主要な発言・報告を採録し、活動を記している。「概況」には全国の文化芸術機関を国家の各部、各省市など所管機関毎に分けてその名称、所在、沿革、組織などを記し、各機関の発行する主要な期刊について簡単な説明を加えている。「附録」には文芸機関分類名録、文芸機関統計表を附している。

一九八二年版は「特載」「文芸紀事」「文芸百科」「中外文化交流」「図片挿頁」の五部から成り、編集方針は八一年版と同じである。

なお、本書は解放後始めて刊行された文芸年鑑であり、解放前には、知る限りでは同名の図書の民国二十四年版、二十五年版が刊行されているだけである。

## 69、「中国美術家名鑑」

中国美術家協会編集。日本で出版準備中。

中国美術家協会会員の画家約八百名について写真を附して略歴を記したものである。

## 70、「中国版画年鑑」

中国版画年鑑編輯委員会編集。遼寧美術出版社出版。年刊。二〇・二×十三・八センチ。一九八二年版は本文三百九十九ページ、図版百四十八ページ。

本書は一九八一年に遼寧美術出版社から刊行された「中国新興版画運動五十年一九三一—一九八一」の史料を継続する目的で編輯、出版されたもので、内容は一九八一年の版画界の動態、消息を記した「版画紀事」、八一年に各地で催された版画展一覽及び主要版画展の出品作品を録した「版画展覧」、八一年に発表された版画に関する文章、論文の総目録及び主要論文を再録した「版画文章」、八一年に刊行された版画関係図書の一覽を載せた「版画書刊」、各展覧会での受賞作品を記した「版画評奨」、版画家協会の規程及び会員名を記した「版画組織」、関係図版を集めた「附図」から成る。中国版画界の動向を知る上に欠くことのできない資料である。なお「一九八三年版」はすでに刊行されたが市販されていない。

## 71、「上海美術年刊」

上海美術年刊編輯組編集。上海人民美術出版社出版。年刊。B5判。百六十四ページ（うち図版百四十ページ）。三・四〇元。

一九八一年版が一九八三年四月に刊行された。本誌は絵画、彫刻を対象とし、上海で開催された展覧会の出品作品からすぐれた作品を展覧会別に選び、中国画、油画、版画、年画、宣伝画、連環画、水彩画、水粉画、彫塑などに分けて図版（単色）で紹介し、末に「一九八一年上海美術活動大事記」「一九八一年上海作者發表有關美術的文著・画冊索引」「中国美術家協会上海分会會員録」を附している。上海画壇の動向、状況を知る上に重要なものである。

## 72、「建築学報」ARCHITECTURAL JOURNAL

中国建筑学会編集。中国建筑工業出版社出版。月刊。B5判。八〇ページ。報紙

本〇・五〇元、道林紙本〇・九〇元。

一九五四年六月に創刊され、一九六五年一月に停刊、翌一九六六年一月に復刊されたが、十月に総第百十二期を刊行したのを再び休刊した。一九七三年十月に総第百十三期から隔月刊として復刊され、一九八〇年十二月に第百四十八期を刊行、一九八一年一月から月刊に改められた。一九八四年第七期が総第百九十一期に当る。内容は建築論壇、建築設計及研究、住宅計画及住宅設計、建築実録(完工作品の論評)、建築物理(空調など)、都市計画、伝統建築研究、公共建築設計及研究、工業建築、古建保護、新老(旧)建築協調、農村計画と建築、建築家伝記、園林緑化、国外建築などから成る。

#### 73、「建築」

北京建築工業出版社出版。月刊。一九五四年十月創刊、一九六五年六月に停刊するまで半月刊、月刊、不定期刊で総第二百四十八期まで刊行された。一九八〇年一月に月刊として復刊、一九八五年四月に総第三百十二期が刊行された。未見。

#### 74、「建築師」

中国建築工業出版社「建築師」編輯部編集。中国建築工業出版社出版。不定期刊。B5判。二百数十ページ。一・四〇元。

一九七九年八月創刊、一九八四年七月に第十九期が刊行された。内容は建築論壇、都市計画、住宅設計、古建築と庭園研究、建築理論研究、公共建築研究、住宅建築研究、内外の建築家伝記、建築史研究、建築教育、風景計画、居住環境と住宅、居民研究、外国文献の中文訳などである。なお、第十八期は「全国大学生建築論文コンクール専刊」に当てられている。

#### 75、「美術家通訊」

中国美術家協会編刊。不公開。

#### 76、「美術論壇」

当代中国刊行美術関係期刊解題(三)

中国美術家協会広東分会編刊。不公開。

#### 77、「黒龍江美術通訊」

中国美術家協会黒龍江分会編刊。不公開。

#### 78、「美術家通訊」

中国美術家協会陝西分会編刊。不公開。

#### 79、「画舫」

中国美術家協会北京分会編刊。不公開。

#### 80、「江蘇美術家通訊」

中国美術家協会江蘇分会編刊。不公開。

#### 81、「天津美術家通訊」

中国美術家協会天津分会編刊。不公開。

#### 82、「山西美術」

中国美術家協会山西分会編刊。不公開。

#### 83、「上海美術通訊」

中国美術家協会上海分会編刊。不公開。

右の九点は不公開の内部刊行物として刊行されているため、披閱することを得なかったが、関係者の話を総合すると、B5判、二十数ページ乃至三十数ページの不定期刊で、内容は国家あるいは中国美術家協会及び各分会の指導者の文芸、美術に関する報告及び談話の記録、美術活動についての方針及び報告、また創作論、画家伝、作品論、美術史料などで、公開発行の「美術」「美術研究」などと性質をほぼ

同じくするようにである。

84、「文藝報」

文藝報編輯委員会編集。作家出版社出版。月刊。B5判。八〇ページ。〇・三六元。

本誌は中国作家協会の主筆するもので、一九四九年九月に創刊され、一九六六年六月に停刊し、一九七八年七月に復刊された。はじめは半月刊であったが、途中で月刊となった。一九八四年第十一期(十一月刊行)が総第四百三十一期に当る。内容は文芸理論、文芸創作論、中国古典文学及び現代・当代文学の研究と評論、戯劇、映画、美術、音楽などに関する作品論、評論、外国文学紹介などである。

85、「文藝研究」

「文藝研究」編輯部編集。文化芸術出版社出版。隔月刊。B5判。百四十四ページ。〇・六八元。

一九七九年五月創刊。初めは人民文学出版社の出版であったが、途中(おそくとも一九八一年第一期)から文化芸術出版社に代った。

本誌は中国芸術研究院の主筆する総合的文芸理論研究誌で、マルクス主義文芸原則に立って内外古今の文学・芸術を研究するもので、裏表紙を入れて三ページの原色図版と四ページの単色図版を持っている。内容は文学、戯劇・曲芸、映画・テレビ、音楽、舞踏、美術、写真、外国文芸を対象とし、それぞれに関する創作論、作家論、作品論、流派、歴史、文学・芸術理論、美学理論、マルクス主義美学など広範面にわたる。美術に関連する主要な期刊九点の中では美術関係の論文が最も多い。

86、「新文学史料」

人民文学出版社「新文学史料」編輯組編集。人民文学出版社出版。季刊。B5判。二百数十ページ。一元。

一九七八年創刊。一九八四年第四期が総第二十五期に当る。本誌は人民文学出版社の主筆するもので、内容は著名人や作家の回想文を集めた「回憶録」を主とし、

作家論の「作家と作品」、「伝記」、「書信」、「出版史話」、「年譜」などから成る。「回憶録」に革命美術運動や社会主義美術運動に関する記述が見られることがある。

87、「文藝理論研究」 Theoretical Studies of Literature and Art

「文藝理論」編輯委員会編集。華東師範大学出版社出版。季刊。B5判。百四十二ページ。〇・六六元。

一九八〇年六月創刊。一九八四年第四期が総第十九期に当る。

本誌は全国高等学校文芸理論研究会及び華東師範大学中文系の主筆するもので、マルクス主義による文芸作品の研究を主な目的とし、現在の文芸路線の中に現われた新しい問題及び経験の考察、中国古代文芸理論の再検討、外国文芸理論及び文芸思潮の研究と紹介などを主な内容とする。現在の文芸路線の動向と問題点を知る上で重要な期刊である。

88、「抗戦文藝研究」

「抗戦文藝研究」編輯部編集。四川省社会科学院出版社出版。季刊。B5判。百六十ページ。一元。

一九八一年創刊。一九八四年第三期が総第十四期に当る。本誌は四川省社会科学院文学研究所の主筆するもので、抗日戦争時期の文芸の研究を主な対象とする。内容は作家、あるいは作品を論じた「作家作品評論」、作家の抗戦期の活動に関する「作家と抗戦文芸」、抗戦期の文芸運動を取上げる「文芸運動」、抗戦期の新聞、期刊に関する「文芸報刊研究」、史料紹介を主とする「史料選登」、作家や抗戦文芸関係者の訪問記などである。

89、「当代文藝思潮」

未見。

90、「美学」

中国社会科学院哲学研究所美学研究室・上海文芸出版社文芸理論読物編輯室合同

編集。上海文芸出版社出版。不定期刊。B5判。一・六〇元。

一九七九年十一月創刊、一九八四年七月に第五期を刊行した。本誌はマルクス主義に立って美学理論、美学史を研究し、芸術創作の実践と結合させようとするもので、広く文学、戯劇、美術、音楽、舞踏、建築なども包括する。例えば第五期には「荘子の美学」「音楽のわが国古代社会生活における地位と役割」「『楽記』の美学思想、作者その他」「王維の美学思想を論ず」「プラトン美学思想の特徴」「モンテスキュー『趣味論』」「プレハーノフ美学理論二つの基本問題の弁析」「無利害関係を審美経験の核心とする」「審美需要を論ず」「自然中の審美解悟を礼賛す」「古典主義・浪漫主義・現実主義三大美学の分岐を論ず」「数の音楽表現手段における意義」「映画芸術の美学本性を論ず」「天然の絵画―中国古典庭園美学思想の一」「西洋現代美学者紹介」などの題目が見える。

## 91、「美学論叢」

中国社会科学院文学研究所文芸理論研究室編集。中国社会科学出版社出版。不定期刊。A5判。二百数十ページ―三百数十ページ。〇・七五元。

一九七九年九月創刊、一九八一年九月に第三を刊行。本誌は美学及び美学理論研究の専門誌で、マルクス主義に立つ美学者、作家の美学思想、美学理論、美学史、文芸理論、芸術史などに関する論文を主とする。例えば第一には「マルクスはどのような美を論じたか」「マルクス・エンゲルスの現実主義理論」「マルクス・エンゲルスの悲劇理論初探」「芸術の世界掌握の方式に関して―芸術の特性を論ず」「パウエル・エルンスト宛エンゲルス書簡の体験に学ぶ」「プレハーノフの美学思想を論ず」などの題目が見える。

## 92、「芸術世界」

上海文芸出版社編集・出版。隔月刊。B5判。六十二ページ。〇・四六元。

一九七九年七月創刊。本誌は一般大衆を対象とする総合的な芸術教養雑誌で、内容は映画、戯劇、美術、音楽、舞踏にわたり、それぞれについて内外の名作、名家を紹介する。文章は短文が主で、内容から芸術欣賞、芸術隨筆、芸術訪問録、芸術

家紹介、芸林今昔、戯曲史話、芸海漫遊、国外映壇、芸苑新花、談芸篇、漫画、知識掌故などに分けられている。  
(一九八五・四・一三)

### 付記

本稿脱稿後、新に創刊された美術関係期刊十二種を「美術」編輯部の御好意により入手することができた。追って紹介したいと考えている。